

第4回 北海道森林管理局国有林材供給調整検討委員会 (概要)

先般開催した、平成30年度 第4回北海道森林管理局国有林材供給調整検討委員会の概要について、次のとおりお知らせします。

1. 日時

平成31年2月26日（火曜日） 15時00分～16時45分

2. 会場

北海道森林管理局 3階 大会議室

3. 検討結果

国有林材の供給について、調整の必要はないとの意見集約がなされた。

4. 主な意見等

- 原木の在庫は、樹種を問わずにこの時期として全体的に少ない状況。今後は、雪解けの影響で搬出に遅れが生じてしまうことから、今の在庫状況では原木が不足する工場もあるのではないかと。また、一部工場では、米材やロシア材により稼働を継続させることも検討している状況。
- 運材車の手配が困難なため、山元に原木があっても出材できない地域もある。
- 製品の引きあい強いが、原料価格が上昇していることから、ユーザーへの値上げ要請を行っている状況。
- 今後、増加していく大径材の需要拡大の方策について、しっかりと考える必要がある。

- バイオマス発電では、原料の20%～35%ぐらいを末木枝条でまかなえるよう集荷に努めている。今後の末木枝条の供給に期待している。

- 畜産業界から、おがくずの価格が上がり、なおかつ量も足りないといった意見が出ている。また、チップ工場も製紙用チップの原料が不足しているとの状況。